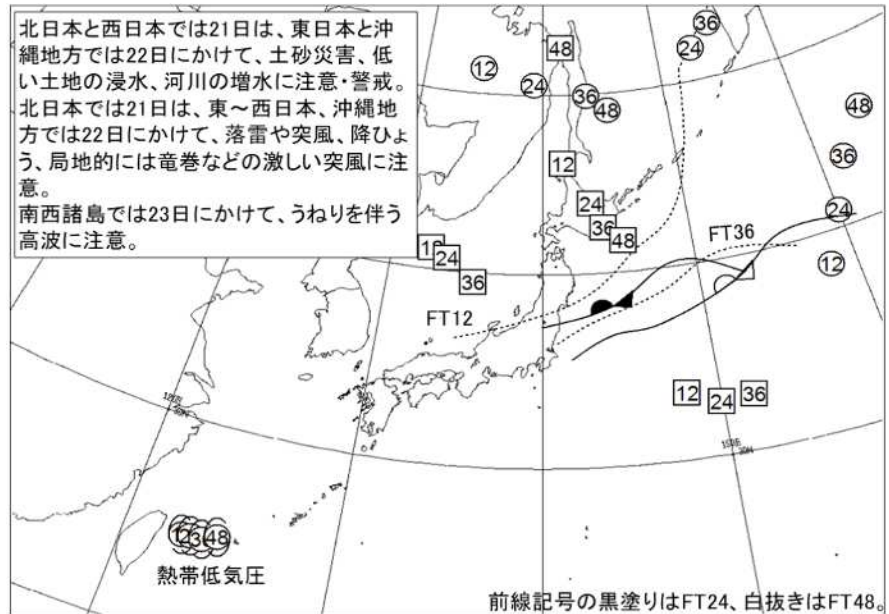


1. 実況上の着目点

- ① オホーツク海からのびる前線が北海道地方、東北地方を
通って日本海にのびている。
500hPa 5760m付近で-9℃以下の
寒気を伴うトラフがサハリンから
北海道付近を東進。前線の近
傍や暖域では対流雲が発達。北
～東日本では、雷を伴う激しい
雨や非常に激しい雨を解析。
- ② 熱帯低気圧が、先島諸島近海
でほとんど停滞。南西諸島周辺
では激しい雨や非常に激しい雨
を解析、雷を検知。
- ③ 500hPa 5880m以上の上層の高
気圧が東～西日本付近を覆い、
地上の高気圧がアリューシャンの南から日本の東や日本の南に張り出して、日本の東に高気圧が顕在
化。高気圧縁辺を回る下層暖湿気と地上の昇温により、東～西日本では雷を伴う激しい雨や非常に激
しい雨を解析。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の前線は、22日朝までに北～東日本を通過する。1項③の日本の東の高気圧からの南よりの風
によって、東～西日本を中心に下層暖湿気が流れ込みやすくなる。前線に向かう下層暖湿気や高気圧
縁辺の気流、地上の昇温、上層寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴って激しい
雨や非常に激しい雨が降って大雨となる所がある。北日本と西日本では21日は、東日本では22日にか
けて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。北日本では21日は、東～西日本では22
日にかけて、落雷や突風、降ひよう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の熱帯低気圧は、22日にかけて先島諸島近海にほとんど停滞する。沖縄地方では熱帯低気圧
周辺の下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、発達した対流雲が断続的に通過して大雨とな
る所がある。沖縄地方では22日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、
落雷や突風に注意。また、熱帯低気圧の周辺では、やや強い風が吹いて波がうねりを伴い高くなる所
がある。南西諸島では23日にかけて、うねりを伴う高波に注意。
- ③ 1項③の上層の高気圧は、23日にかけて東～西日本付近を覆い、2項①の前線の影響の少ない西日本
を中心に晴れて気温が上昇し、猛暑日となる所がある。引き続き熱中症に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ①雨量(06時からの24時間)：東海・沖縄100mm。

②波浪(明日まで)：奄美・沖縄3m。

5. 全般気象解説情報発表の有無 発表の予定はない。